

月次審査における 新型コロナウイルス感染症対策と大会運営方針

本大会は全日本柔道連盟が作成した「新型コロナウイルス感染症対策と柔道練習・試合再開の指針（Version6）」に則り、以下の方針で大会運営を行います。

1. 健康記録表の提出と当日の検温

すべての入場者は大会前7日間の健康記録表を提出する。

※入場を認めない者の扱いについて（試合参加プロトコール参照）

<試合参加プロトコール>

	内 容	試合参加
1	健康記録表や誓約書を提出しない	×（不可）
2	試合当日に発熱（37.0 度以上）や諸症状がある	×（不可）
3	試合当日から 3 日間前までの間に、1 日でも発熱（37.0 度以上）や諸症状がある（あった）	×（不可）
4	試合当日の1週間前から4日前までに 2 日以上発熱（37.0 度以上）や諸症状があった。	×（不可）

※出場チームにおいては、出場選手が 1 人でも有症状のために試合参加不可となった場合、チーム全体として試合を辞退することが望ましい。

選手は試合中の待機中の位置取り（選手間は 1～2m 離す）に注意し、大声での応援や指示は禁じます。

2. マスク・消毒について

すべての入場者は常にマスクを着用すること。

選手のみ試合時にマスクを外すことができる。

マスクを外す際には、マスクケース、ビニール袋等を持参し、外したマスクを入れて密閉し、他の選手が素手で扱うことがないようにすること。

試合場の消毒はおおむね1時間ごとに実施する。

大会主催者は各所に消毒液を設置する。

すべての入場者はこまめな手洗い、消毒を心がけること。

大会主催者は、試合中に感染予防措置を遵守できない参加者に、他の参加者の安全を確保する等の観点から、参加を取り消したり途中退場を求めたりすることがあり得る。

3. 入場時間の設定

当日は会場入口が密状態にならないよう、入場の時間、入り口を設定する。

※入場時間等についてはタイムスケジュールを参照。

4. 選手について

・選手であっても大声での応援、指示は禁ずる。

5. 監督等の指示・指導について

・試合中の指示・指導は厳に慎むこと。

・試合中断中（主審の「待て」から「はじめ」までの間）であっても大声での指示・指導を禁止する。従わない監督に対し審判員は、1回目口頭による注意
2回目で退場を命じる。

6. 観客への対応

・マスクは必ず着用すること。

・客席は一つ開けて着席する。また、大声での応援は禁じる。

（密集する応援、大声で応援を見かけ、注意しても守らない場合は退場を宣告する場合がある）

・トイレなどを使用した場合は十分に手洗い、消毒を行うこと。

7. 健康記録表の扱いについて

提出いただいた健康記録表は来場者把握と健康状態の確認に使用し、それ以外の目的で使用することはありません。個人情報漏洩に注意を払い、県柔道連盟事務局にて1か月間保管し保管後はシュレッダーにて破棄いたします。

8. 大会終了後コロナウイルス感染が疑われる場合

すべての入場者の中で、大会終了後コロナウイルス感染が疑われる症状が出た場合は、医療機関を受診するとともに保健所の指示に従ってください。また、県柔道連盟事務局へ報告いただきますようお願いいたします。

主催者は新型コロナウイルス感染対策を最優先に月次の運営を行います。
参加されるすべての方々のご協力をお願いいたします。

<問合せ先>

山梨県柔道連盟 月次担当

副理事長 戸島 信一

携帯番号 090-2430-4983

メール syounen@juren-yamanashi.org